

「担い手農家等に農地の集積・集約するための目標地図作成」

京都府 八幡市農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員	:	14人
○ 農地利用最適化推進委員	:	8人
○ 事務局職員	:	3人
○ (関係団体名)	:	京都やましろ農業協同組合八幡市支店
○ 市町村行政との連携状況	:	市農業振興課職員
も会議には出席し、全体の司会進行をしている。		



2 地区の特徴、状況、課題

- 八幡市は、大阪府と京都市の都市部に挟まれた地域
- 都市近郊・消費地という立地条件を生かした農業経営が展開されている。
- 圃場整備された農地は担い手農家等に集積されているが、未整備農地は集積されていないので今後担い手農家等に集積していくのが課題

3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 八幡市では地区連絡会議を八幡地区、都々城地区、有智郷地区の3地区で開催。
- 3地区とも会議を2回開催し、地域計画及び目標地図の策定に向けた地区連絡会議を開催。
- 会議の参加者は実行組合や担い手農家等で地図を囲みながら話し合いをした。
- 担い手農家等が耕作している農地を担い手農家等別に色分けした物を地図を行政側で作成。
- 協議の場で、現在までの成果、作成内容を確認。
- 地域計画、目標地図公告後、今後、年に2回見直しのために地区連絡会議を開催することを確認。

4 成果

- 今後は、目標地図を利用して担い手農家等への更なる農地の集積・集約化を目指す。
- 中間管理事業による農地の貸借制度を担い手農家等や地権者に一定の周知を行った。今後も引き続き周知を進める。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください